

## 番外編ハイキング ～ 男山から淀の河津桜観桜ウォーク

日 時：令和 4 年 3 月 12 日（土）

10 時 京阪電車「橋本駅東側西遊寺前」集合  
糸賀が案内します



コース：橋本駅～あらかし公園展望台～石清水八幡宮～男山展望台～エジソン記念碑～男山レクリエーションセンター～ひだまりルート～鳩ヶ峰山頂（標高 142m）～神應寺（じんのうじ）～杉山谷不動尊～石清水八幡宮五輪塔～高良神社～石清水八幡宮一ノ鳥居～石清水八幡宮駅～さくらであい館（昼食）～展望塔～宇治川堤防～淀大橋～淀緑地東口～淀の河津桜～淀城跡～京阪淀駅（約 8 キロ）

### 【コース詳細と見どころ】

京阪・橋本、昭和初期の遊郭跡や橋本道の碑、あらかし近隣公園（子供に人気のある滑り台がある）の中を歩く、あらかし展望台（大阪方面の眺望が楽しめる）車での参拝道で石清水八幡宮に、楠木正成が戦勝軍利を祈り植えたと言われる楠の大樹（京都府の天然記念物）幹周 7m 樹高 26m 樹冠周囲は何と 40m も有り 根周りも 18m と根張りも立派なモノです。石清水八幡宮 三ノ鳥居から一ツ石、参道を通り、石清水八幡宮の南総門から入り八幡宮参拝、楼門から西総門、北総門、東総門の順に散策、神楽殿のクスノキ（府指定天然記念物）や御神木の「楠」おがたまの木、末社など。裏参道側を通り男山展望台へ、京都方面が一望できる絶景の場所、ケーブル山頂駅の側を通り八幡宮駐車場へ、エジソン記念碑、男山レクリエーションセンターの側を通り「ひだまりルート」で鳩ヶ峰山頂へ（標高 142m）すでに高い位置に上っているのでわずかな上り（山頂と言っても眺望は良くない）竹林を通り下山、途中、ケーブルの上り下りの交差が上から見られる、神應寺（じんのうじ）の鐘楼を見て下山、今度はケーブルの上り下りの交差が低い位置から見られる、杉山谷不動尊へ、杉山谷不動尊は厄除け不動明王があり信仰を集める神應寺の奥の院。不動のそばにひめきの滝と呼ばれる谷川がある。

石清水八幡宮五輪塔（航海記念塔）高さ約 6m、地輪（球形の石材の下の方形の部分）1 辺 2.4m、全国最大規模の鎌倉時代の五輪石塔で、国の重要文化財に指定されている。高良神社へ、高良神社御神木タブノキ樹齢 700 年、根回り 7.5m、樹高約 24m、樹冠周囲約 30m、京都の自然 200 選に選定されています。源頼朝の手植えの松と伝わる伝承の松。現在の松は 2 代目。安居橋（たいこ橋）、石清水八幡宮頓宮、筒井、石清水八幡宮のある男山には 5 箇所名水の出る所があり一の鳥居が一番近い筒井は中でも一番の清水だと言われている。放生池、夏から秋にかけて咲くアサザという珍しい水生植物がある。石清水八幡宮一ノ鳥居をくぐり、やわた走井餅老舗前へ、走井餅は江戸時代中期の明和元年（1764 年）に大津で創業、湧水「走井」を用いて、初代井口市郎右衛門正勝が餡餅を作ったことに始まります。東高野街道を歩いて石清水八幡宮駅に（旧八幡市駅）、ここにコンビニがある。御幸橋（木津川）を渡り淀川三川合流域さくらであい館へ、休憩コーナーで昼食トイレ休憩（又は背割堤で昼食）さくらであい館展望塔へ、宇治川堤防・八幡宇治線（府道 8 1 号線）京阪本線踏切を渡り直進、淀大橋を渡り宇治川対岸へ、宇治川の堤防を歩き淀緑地東口へ、ここから淀の河津桜散策路、淀水路に咲き誇る「河津桜」の並木、見頃は 2 月下旬～3 月上旬、河津桜並木は京阪本線まで続く、時間があれば淀城跡へ、淀の水車の碑（ここにも河津桜がある）～京阪淀駅（解散）

## 【参考】

### 『淀水路の河津桜』 約 200 本の河津桜が咲く花の名所

地元の住人たちが、平成 14 年から植樹してきた桜は約 200 本にもなります。水路の遊歩道を散策しながら桜を楽しむことができます。2 月中旬から 3 月中旬ごろまで河津桜が楽しめます。淀水路の河津桜は全国 10 位、京都府内 3 位の人気の高いお花見スポットです。

### 『石清水八幡宮』

男山山頂にある石清水八幡宮は、応神天皇、神功皇后、ヒメ大神(八幡三所大神という)をまつる旧官幣大社です。八幡宮の遷座以前は、男山山中から湧き出ずる清泉を神としてまつっていたと伝えられています。

859 年(貞観元年)、奈良大安寺の僧、行教(俗称紀氏)が、九州・豊前国(今の大分県)の宇佐八幡の神託をうけ、八幡神をこの地に勧請。時の清和天皇の命を承け、木工寮権允橘良基が宇佐宮に准じて、本殿三宇、礼殿三宇からなる神殿六宇の造営に着手し、翌 860 年(貞観 2 年)4 月 3 日に「石清水八幡宮」は完成しました。以来、朝廷の崇敬を得て、伊勢神宮に次ぐ国家第二の守護神と崇められ、源氏もまた八幡神を氏神として仰いだため、八幡信仰は全国に流布しました。

現在の社殿は、1631 年から 34 年(寛永 8-11 年)にかけて三代将軍徳川家光の造営によるもので、桜門、舞殿、幣殿、外殿、本殿、回廊からなっており、すべて重要文化財に指定されている。桜門は、入母屋造り、桧皮葺で、左右に回廊を出して外囲いを作り、前方に唐破風の向拝(ごはい)をつけた珍しい建築です。

本殿は八幡造りといわれる建築様式で、外陣(外殿)と内陣(本殿)とに分ち、両方の屋根の接する谷の部分に織田信長の寄進した黄金の雨樋を通しています。これは、万一、本殿消失時においても、この黄金によって新しく本殿造営ができるといわれていますが、純度は低く、疑わしいものがあります。建築の細部にわたっては、桃山風の華麗な彫刻が多数施されています。

### 『エジソン記念碑』

八幡の竹を使っての白熱電球の長時間点灯、実用化に成功した世界の発明王エジソンとのゆかりにより、昭和 9 年当宮境内の隣に「エジソン記念碑」が建立されました。そして昭和 33(1958)年には現在の位置に移転され、昭和 59(1984)年にはデザインを一新し建て替えられました。

### 『あらかし公園の展望台』

あらかし公園、八幡市にある公園で、男山の麓にあるため小高い丘のようになっており、特に大阪の樟葉、枚方、高槻方面の景色がみられます。

### 『男山展望台』

愛宕山、渡月橋、京都タワー、比叡山、伏見桃山城、城陽市などを一望できます。知る人ぞ知るパノラマビュー。

### 『五輪塔（航海記念塔）』

日本最大級、超ド級と称される石造りの「五輪塔」。高さ6m、下部の方形の一辺2.4mの石塔で国の重要文化財に指定されています。この五輪塔には、刻銘がないため、誰がどのような意図で制作したのか謎のままですが、高倉天皇の御代に「宋（中国）と貿易をしていた尼崎の商人が、石清水八幡宮に祈り海難を逃れたため、その御礼と感謝のために建立した」との伝承から「航海記念塔」とも呼ばれています。

### 『神應寺（じんのうじ）』

八幡神を男山に勧請した行教律師が、貞観2年（860）に創建した。重文の行教律師座像、豊臣秀吉の衣冠束帯の像が安置されている。書院は伏見桃山城の遺構で、襖や杉戸には狩野山雪筆による「竹に虎、御所車」などが描かれている。また、江戸時代の豪商・淀屋辰五郎や二宮忠八などの墓がある。

### 『杉山谷不動尊（ひきめの滝）』

谷不動ともいわれ「厄除け不動」として人々に信仰されています。不動堂の横を流れる谷川には、霊泉瀧（ひきめの瀧）があり、清らかな水音を聞かせてくれます。

### 『高良神社（こうらじんじゃ）』

石清水八幡宮の麓の頓宮横、行教律師が建立した神殿の跡に鎮座する高良神社。

もとは、河原社と称し、馬場先本道を挟んでその前方を流れる放生川の側にあり、貞観3年(861)に行教によって建立されたと伝わる神社です。社殿は慶応4年(1868)鳥羽伏見の戦いによって消失してしまいましたが、明治15年(1882)に再建されました。

高良神社の有名な逸話として、元徳3年(1331)、兼好法師が著した『徒然草』に登場することでも知られています。

